

令和 5 年 6 月 28 日現在

機関番号：32629

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2019～2022

課題番号：19H01232

研究課題名(和文)近代日本探偵小説研究の基盤整備：資料の調査・保存・公開とその活用

研究課題名(英文) Development of a foundation for the study of modern Japanese detective fiction: research, preservation, and publication of materials and their use.

研究代表者

浜田 雄介 (Hamada, Yusuke)

成蹊大学・文学部・教授

研究者番号：80238071

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,300,000円

研究成果の概要(和文)：戦後探偵小説の旗艦となった雑誌『宝石』を覆刻し、その解説やシンポジウムを通して翻訳やメディア、ジェンダーなどの観点から占領期の探偵小説が抱えた諸問題を検討した。また『オンライン版 二松学舎大学所蔵 横溝正史旧蔵資料』など、探偵小説作家の自筆資料を画像公開や翻刻の形で公開し、作品生成過程も含めた総体としての作家研究への道を開いた。それらの研究成果を『定本 夢野久作全集』など全集類の編集や神奈川近代文学館の『新青年』展、姫路文学館の『山田風太郎』展などの文学館企画への協力にも反映させることで、探偵小説ジャンルや作家、雑誌の新たな姿を一般に向けて発信した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

多くの人々にとって身近な楽しみである探偵小説は、近現代における人間の思考様式や感受性、人間観や世界観を反映し、たえず更新され続けているジャンルである。本研究はそのことを人文学の知見を通して明らかにするとともに、関連する資料を調査し、保存と公開の方法を探るものである。資料の公開は人文学を超えた多領域の知による活用を呼び、新しい知見は人々の楽しみをより豊かにすることにつながるであろう。

研究成果の概要(英文)：We reprinted the magazine "Hoseki," which was the flagship of postwar detective fiction, and through commentary and symposiums on the magazine, we examined the detective fiction during the Occupation from the perspectives of translation, media, gender, and other issues. In addition, we made public the autographs of the detective novelist in the form of images or textualization, such as the online version of "Yokomizo Seishi's Former Materials in the Collection," paving the way for the study of the author, including the process of creating his works. The results of this research have been reflected in the editing of complete works such as "The Complete Works of Yumeno Kyusaku," and in cooperation with the Kanagawa Museum of Modern Literature's "Shin Seinen" exhibition, the Himeji Museum of Literature's "Yamada Futaro" exhibition, and other exhibitions organized by literary museums. Thereby we presented a new picture of the detective novel genre, authors, and magazines to the public.

研究分野：日本近代文学

キーワード：探偵小説 江戸川乱歩 横溝正史 自筆資料 復刻

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

1980年代以降、探偵小説は近現代における人間の思考様式や感受性、人間観や世界観の表現としてとらえ返されるようになり、人文学をはじめとするアカデミズムの領域においても研究が進んだ。一方で探偵小説の隆盛期を担った作家たちの遺族も世代交替が進み、2000年前後には散逸の危機にある旧蔵資料、自筆資料等を、文学館、図書館、大学等が、受け入れ始める。国際化、デジタル化の要請もある中で、2010年代、大学を中心とするアカデミズムは、探偵小説関連資料類の総合的な研究に向けた資料保存、整理、活用方法の検討を迫られるようになった。

### 2. 研究の目的

(1)日本の近代における探偵小説ジャンルの生成過程を明らかにする。今回のプロジェクトでは、雑誌関連のリスト作りや覆刻などを行うとともに、セクシャリティ、科学思想、経済、メディアなどの観点から、探偵小説ジャンルに関する理論的検討を行う。

(2)作家の蔵書類や自筆資料を、保存と公開に向けて調査、整理する。将来的には横断的にアクセスできる研究ネットワーク作りをめざすが、今回のプロジェクトでは、江戸川乱歩、横溝正史、小栗虫太郎、渡辺啓助、高木彬光、山田風太郎などの作家につき、資料ごとの全体像を明らかにし、研究や公開の方向性を定める。

### 3. 研究の方法

国際研究、作家研究、雑誌研究、理論研究の各研究部門に分けることで方法を意識化しつつ、部門横断的に研究を進める。

国際研究……近代日本探偵小説関連資料公開に対する国内外の研究者の希望や動向をリサーチする。たとえばセクシャリティや検閲などのテーマを切り口に、研究の連携を図る。

作家研究……探偵小説作家の自筆資料など、各大学が受け入れている資料を調査し、それぞれの状況に応じてリスト化、翻刻、デジタルデータ化、論文執筆などを行う。文学館や個人所有の関連資料に対しても調査を進める。

雑誌研究……『新青年』『宝石』など探偵小説の旗艦となった雑誌の調査を進める。また、立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター収蔵資料を活用し、『探偵新聞』など稀少雑誌、新聞、会報等のリスト化や覆刻を進める。

理論研究……メンバー全員参加による研究会を開催する。随時研究計画と役割分担を確認しつつ、探偵小説の歴史、理論、方法などを深く掘り下げる。

### 4. 研究成果

全体として有意義な成果が得られたと考えているが、若干の軌道修正をした事柄を二点挙げる。第一は鳥羽のみなとまち文学館の火災である。それ以前より江戸川乱歩と岩田準一をめぐる貴重な資料を持つ文学館として調査を始めてはいたが、火災によって予定以上にその調査保存を急務と位置づけて小松らが作業にあたることとなった。第二に、当初はやや漠然とデータベース作りを想定していたが、資料それぞれの固有性が見えてくるとともに、その固有性を活かす方法を探りつつ、それらを結ぶネットワークを作ることが有効と考えられるにいたった。今回のプロジェクトは期間通りに区切りを付けるが、以上の問題意識のもとに、小松が代表となり新しいプロジェクト「近代日本探偵小説の資料保存とアーカイブ・ネットワークに向けた基礎的研究」を立ち上げることになった。

以下、研究部門ごとに記す。

#### (1)国際研究

国際的な研究交流については、2019年9月の会合ではポーランドの日本探偵小説研究者アンジェイ・シフィルコフスキ氏を交えて情報の交換を行うなどのことが可能であったが、やがてコロナ禍の影響を深く受けて海外との直接的な往来が制限され、いくつかの企画が困難になった。想定した予算と時間の一部は文献収集や他の部門の研究にも振り分けられたが、川崎らは海外における日本探偵小説受容と翻訳および研究動向の調査を行う一方で、フランス、アメリカ・イギリス・オーストラリアなど、海外の日本探偵小説研究者とのネットワークづくりを進めた。直接的な海外への発信としては、19年には石川が台湾日本語学会で「戦時下における 人文知

夢野久作が描いた 東亜 とその未来 」を公表、21年には川崎がEAJS(ヨーロッパ日本研究学会)で「Detective with 'Mixed-blood' Looks: Transformation of the Detective Genre as a Transcultural Text, from the 1920s to the 1940s」の発表、小松がJapanese Studies Association of Australia (JSAA)で「災害をめぐる日本SFの想像力: SF漫画と災害 輪廻する時間 とヒロイズム」の発表、23年には川崎がフランス日本近代文学学会で「戦後GHQ占領期から冷戦期にかけての「大衆文学」研究の現状と課題」について講演、小松が「Humanities」Volume 12, Issue 1にEric Siercksとともに「Readers and Writers in Japanese Detective Fiction, 1920s-30s: Tracing Shifts from Edogawa Rampo's "Beast in the Shadows" to

The Demon of the Lonely Isle」を寄稿している。

## (2) 作家研究

資料それぞれの実態や環境に応じて目録作成、資料の翻刻やデジタルデータ化、作品集の編纂、解説や論考の執筆、展示などを行った。以下、作家ごとにまとめる。

### 江戸川乱歩

石川「艶めかしき怪談 「人でなしの恋」論」(『大衆文化』23-24号、「江戸川乱歩「芋虫」における「物のあわれ」」、『立教大学日本文学』124、「グロテスクの見せ方 江戸川乱歩「悪夢」の伏字」、『紋説』3-19、小松「江戸川乱歩「孤島の鬼」の着想を巡って」、『大衆文化』23などの個別論考のほか、小松は19年度より江戸川乱歩旧宅跡記念碑建立実行委員会の委員として、「江戸川乱歩と名古屋展」(名古屋市政資料館)の企画に関わり、20年11月には同展で記念講演を行った。また23年度には江戸川乱歩『貼雑年譜』全9巻のデジタル版が公開される予定で、石川、金子はその「解題」執筆に取り組んでいる。

乱歩と関係の深い岩田準一については、小松が中心となって20年度より鳥羽みなと町文学館に収蔵されている岩田準一資料の中の江戸川乱歩および探偵小説関連資料のデジタル化作業にとりかかっていたが、21年10月の同館火災により、その再建と資料保存のために注力することとなった。すなわち22年8月17日~20日および23年2月23日~26日にかけて、研究協力者6名と鳥羽で合宿し、岩田準一遺族宅に保管されていた21箱に及ぶ大量の未整理資料(書簡類、写真、絵画、スクラップ帳、等)の整理を行い、エクセル・ファイルで資料リストを作成し、岩田準一遺族と23年4月29日にリニューアル・オープンした江戸川乱歩館(鳥羽市)に寄贈した。このリストは江戸川乱歩館にて閲覧可能資料として展示されており、今後これを基に、江戸川乱歩館と協力して企画展示を展開していく予定である。また、上記作業中、岩田準一日記の原本も全巻確認できた。この日記を皓星社から23年度に出版するべく、2月から研究協力者3名と共に翻刻作業中である。

### 横溝正史

山口を中心に浜田知明の協力を得て二松学舎大学所蔵の横溝正史旧蔵資料のうち、自筆資料の整理調査を進めた。1930年代半ばから1970年代末までに至る草稿および原稿約14,000枚について、可能な限り作品名、執筆時期の特定を行った。デジタルデータ化された画像は、「近代文学作家自筆資料集」(J-DAC)の一つ、『オンライン版 二松学舎大学所蔵横溝正史旧蔵資料』として、丸善雄松堂より22年11月にリリースされた。横断検索が可能な本資料は、諸学術機関で利用することができる。自筆資料の調査の過程で得られた作品本文の生成や改稿における知見は、浜田知明・本多正一・山口直孝編『完本人形佐七捕物帳』(全10巻、春陽堂書店、19年12月~21年7月)の本文校訂や解題においても活用されている。『犬神家の一族』や『獄門島』などの代表作の草稿については、作品別に集成し、翻刻した資料集を23年度から順次まとめる予定である。

### 山田風太郎

谷口は、19年8月、山田風太郎記念館(兵庫県養父市)所蔵の未刊行自筆資料の電子データ化を行い、その一部を『文藝別冊 我らの山田風太郎古今無双の天才』(岩崎奈菜編集、河出書房新社、2021年1月)に発表、同資料の調査内容の一部を論文として茂木謙之介編『怪異とナシヨナリズム』(青弓社、21年11月)に発表した。また、22年4月に姫路文学館にて開催された「生誕百年記念 山田風太郎展」の展示にも上記資料の一部が用いられた。なお、同展覧会には企画の一部への参与、展示品の選定、キャプションの校正、パンフレット編集の補助、原稿の執筆、オープニングセレモニーにおける講演などを担当した。以上の作業には、研究協力者として、安蒜貴子、佐藤淳が協力した。

### 小栗虫太郎

山口は、新聞地方紙の連載小説調査により、小栗虫太郎の未発見長篇『亜細亜の旗』を発見し、春陽堂より刊行した。また浜田は鈴木優作、井川理、沢田安史、大鷹涼子、西田恭子、八木橋勇人、本田逸朗らとともに成蹊大学所蔵の小栗虫太郎関係資料の調査を進め、草稿類の大半について第一次の文字起こしを済ませた。『会議派殿下』『成層圏魔城』『賭博者』などの推敲過程、未発表作品の構想、菊芋をめぐる活動などが次第に明らかになっている。これらの成果の一部は22年度小樽文学館の「小栗虫太郎展」の資料紹介などにも反映されたが、23年度より順次公表する予定である。

### 夢野久作

川崎、谷口は、西原和海、沢田安史とともに『夢野久作全集』を編集し、22年度には別巻を刊行して完結させた。また夢野久作の父杉山茂丸の書簡について、浜田は20年3月の『成蹊國文』に鈴木優作、市地英らとともに成蹊大学所蔵資料を翻刻紹介した。

### 渡辺啓助

渡辺家の協力のもと、浜田は、『『新青年』趣味』』両誌において、継続的に渡辺啓助の日記・ノート類の翻刻紹介を続けている。19年度において、浜田は『渡辺啓助小説選』第1巻、小松は同第2巻を編集し、埋もれていた作品群の発掘を行った。また土屋文明記念文学館における講演「探偵小説という文学」で、浜田は江戸川乱歩、横溝正史、渡辺啓助、渡辺温の資料紹介を行った。

### 高木彬光

小松は19年度より青森近代文学館蔵の高木彬光草稿の調査とスキャニング、高木晶子氏所蔵の高木彬光資料の閲覧調査と書簡のスキャニングを行い、20年11月の青森近代文学館「高木彬光生誕100年展」に参加し、研究者の案内で青森市内の高木彬光所縁の土地を踏査した。

保篠龍緒

保篠龍緒資料が遺族より二松學舎大学に寄贈され、山口中心に整理を始めている。

### (3)雑誌研究

探偵小説をめぐる問題系の錯綜をとらえるために、旗艦となった雑誌『新青年』『宝石』の調査研究は不可欠である。『新青年』については一定の研究の積み重ねがあるが、その成果の社会的還元として、浜田は21年開催の神奈川近代文学館「創刊101年記念展 永遠に「新青年」なるもの ミステリー・ファッション・スポーツ」の編集委員として企画展示、図録作成に関わり、また浜田、小松、谷口は同年刊行の『新青年』研究会編『『新青年』名作コレクション』(ちくま文庫)に解説を執筆した。『宝石』については、20年から21年まで定期的な会合を開いて研究報告を行い、21年からは復刻版の刊行を始め、22年9月には公開シンポジウム「雑誌『宝石』と戦後日本の探偵小説」を開催して戸川安宣氏をディスカッサントにメンバー全員による報告を行った。

稀少雑誌の復刻に関しては、19年には石川が『探偵新聞』の復刻に関わって解説執筆を行い、さらに『捕物作家クラブ会報』『捕物作家クラブ会報』『関西探偵小説新人會々報』『関西探偵作家クラブ会報』『日本探偵作家クラブ関西支部会報』『探偵小説ニュース』『探偵小説を愉しむ會會報』の復刻に協力し、メンバー全員で解説執筆を行うこととなった。22年度には研究報告と情報共有のため数次の会合を行って執筆し、23年8月には刊行の予定である。

以上のほか、19年12月に新聞博物館の倉庫調査を行った。

### (4)理論研究

理論研究については、金子を中心として主に文学史の方面から探偵小説を再定位する方向性での研究を行った。個別的な成果については、期間中の個別の研究論文等で公表されているが、資料調査等によって明らかになる探偵小説の同時代的なメディア環境、出版状況との関係性を、同時代の文学全般のメディア環境、出版状況総体との関係のあり方と接続することによって、芸術性を軸とした文学史のパラダイムそのものが、文学作品の商品性や流通性の角度から更新される可能性を提起した。主な成果に金子「文学/文学研究における「正統」と「正当」のあいだ」『立教大学日本文学』122、金子「「文学史」はいつ書かれるのか」『日本近代文学』106などがあり、また研究史の通観として浜田「『新青年』研究後悔記」『大衆文化』26がある。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計29件（うち査読付論文 6件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 15件）

1. 著者名 小松史生子	4. 巻 28
2. 論文標題 湖面の恋、湖底の泥 江戸川乱歩と横溝正史、探偵作家が描く 諏訪湖	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 大衆文化	6. 最初と最後の頁 78-88
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Komatsu Shoko, Siercks Eric	4. 巻 12
2. 論文標題 “Readers” and “Writers” in Japanese Detective Fiction, 1920s-30s: Tracing Shifts from Edogawa Rampo’s “Beast in the Shadows” to The Demon of the Lonely Isle	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Humanities	6. 最初と最後の頁 12~12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/h12010012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 小松史生子	4. 巻 32
2. 論文標題 戦後探偵小説と新宗教 高木彬光・横溝正史・松本清張	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 南山宗教文化研究所 所報	6. 最初と最後の頁 11-29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 金子明雄	4. 巻 106
2. 論文標題 「文学史」はいつ書かれるのか	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本近代文学	6. 最初と最後の頁 2-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浜田雄介	4. 巻 5
2. 論文標題 渡辺啓助の不思議な「窓」(資料紹介)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名	6. 最初と最後の頁 44-50
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浜田雄介	4. 巻 22
2. 論文標題 渡辺啓助追跡(8) 東亜考古学会蒙古調査班『蒙古高原横断記』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『新青年』趣味	6. 最初と最後の頁 168-181
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石川巧	4. 巻 3-19
2. 論文標題 グロテスクの見せ方 江戸川乱歩「悪夢」の伏字	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 紋説	6. 最初と最後の頁 115-142
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石川巧	4. 巻 25
2. 論文標題 占領を解かれた「宮本武蔵」 新国劇版ラジオドラマを読む(一)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 大衆文化	6. 最初と最後の頁 34-51
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 谷口基	4. 巻 21
2. 論文標題 木々高太郎「女面獅子身」論 廃墟とスフィンクス	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『新青年』趣味	6. 最初と最後の頁 36-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子明雄	4. 巻 1
2. 論文標題 プロバビリティの犯罪 と犯罪者のこころ 谷崎潤一郎から江戸川乱歩へ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 さいたま文学館紀要	6. 最初と最後の頁 8-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小松史生子	4. 巻 18-1
2. 論文標題 吉屋信子「生霊」論 軽井沢、虚栄の断層地帯	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 金城学院大学論集・人文科学編	6. 最初と最後の頁 56-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小松史生子	4. 巻 98
2. 論文標題 ミステリと南洋表象 非歴史化される 秘境	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 金城日本語日本文化	6. 最初と最後の頁 9-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 浜田雄介	4. 巻 21
2. 論文標題 渡辺啓助追跡(7) 一九五八年五月~八月	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『新青年』趣味	6. 最初と最後の頁 284-300
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浜田雄介	4. 巻 26
2. 論文標題 『新青年』研究後悔記	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 大衆文化	6. 最初と最後の頁 66-87
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石川巧	4. 巻 23
2. 論文標題 艶めかしき怪談 「人でなしの恋」論・上	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大衆文化	6. 最初と最後の頁 2-19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石川巧	4. 巻 124
2. 論文標題 江戸川乱歩「芋虫」における“物のあわれ”	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 立教大学日本文学	6. 最初と最後の頁 54-67
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 石川巧	4. 巻 24
2. 論文標題 艶めかしき怪談 「人でなしの恋」論・下	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 大衆文化	6. 最初と最後の頁 2-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小松史生子	4. 巻 23
2. 論文標題 江戸川乱歩「孤島の鬼」の着想を巡って	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大衆文化	6. 最初と最後の頁 20-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小松史生子	4. 巻 97
2. 論文標題 江戸川乱歩「孤島の鬼」の着想を巡って (補遺)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 金城日本語日本文化	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 川崎賢子	4. 巻 10
2. 論文標題 彼女の新世紀--李香蘭 / 山口淑子 / シャーリー・ヤマグチ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 NFAJニューズレター	6. 最初と最後の頁 10 - 11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川崎賢子	4. 巻 105
2. 論文標題 書評 岩本憲児・晏二編『戦時下の映画 日本・東アジア・ドイツ』	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 映像学	6. 最初と最後の頁 100-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川崎賢子	4. 巻 21
2. 論文標題 「大陸三部作」の越境 メディア・ジャンル・ジェンダー	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Intelligence	6. 最初と最後の頁 4-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子明雄	4. 巻 122
2. 論文標題 文学 / 文学研究における「正統」と「正当」のあいだ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 立教大学日本文学	6. 最初と最後の頁 99-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金子明雄	4. 巻 22
2. 論文標題 新派と歌舞伎のあいだ 五代目中村芝翫の家庭小説劇をめぐる	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大衆文化	6. 最初と最後の頁 42-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 川崎賢子	4. 巻 122
2. 論文標題 震災後の関心の変化	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 立教大学・名古屋大学合同研究会 教員セッション 近現代文学・文化研究の「いま」と「これから」	6. 最初と最後の頁 93-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川崎賢子	4. 巻 79
2. 論文標題 書評 五味淵典嗣著『プロパガンダの文学：日中戦争下の表現者たち』	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 昭和文学研究	6. 最初と最後の頁 152-154
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川崎賢子	4. 巻 7
2. 論文標題 夢野久作から佐左木俊郎への未発表書簡見つかる：日記の空白期埋め、『ドグラ・マグラ』の推敲過程示す	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 民ヲ親ニス	6. 最初と最後の頁 196-199
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浜田雄介, 鈴木優作, 市地英	4. 巻 28
2. 論文標題 成蹊大学図書館所蔵 杉山茂丸関係書簡 翻刻と考察	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 成蹊人文研究	6. 最初と最後の頁 25-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 浜田雄介	4. 巻 19
2. 論文標題 渡辺啓助追跡(5) 渋川、一九五一年七月~九月	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『新青年』趣味	6. 最初と最後の頁 235-254
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計25件(うち招待講演 4件/うち国際学会 5件)

1. 発表者名 小松史生子
2. 発表標題 浴室に死体があります 近代建築のホラー空間
3. 学会等名 怪異怪談研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小松史生子
2. 発表標題 文学における 発明 表象(担当はディスカッサント)
3. 学会等名 昭和文学会秋季大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小松史生子
2. 発表標題 調査結果から新たにわかった乱歩にとっての鳥羽
3. 学会等名 鳥羽商工会議所主催「江戸川乱歩フォーラム」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 谷口基
2. 発表標題 風太郎文学の奇想と普遍性
3. 学会等名 姫路文学館特別展「生誕100年記念 山田風太郎展」記念講演
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 谷口基
2. 発表標題 日影丈吉「吉備津の釜」の「釜鳴り」について
3. 学会等名 怪異怪談研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 川崎賢子
2. 発表標題 戦後GHQ占領期から冷戦期にかけての「大衆文学」研究の現状と課題：久生十蘭から松本清張まで
3. 学会等名 RELIJAM（フランス日本近代文学学会）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 浜田雄介
2. 発表標題 『新青年』の 装い 戦略
3. 学会等名 日本近代文学会特集「 装い の政治学 一九三〇～四〇年代のメディアと文学」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石川巧、金子明雄、川崎賢子、山口直孝、谷口基、浜田雄介、小松史生子、戸川安宣
2. 発表標題 公開シンポジウム「雑誌『宝石』と戦後日本の探偵小説」
3. 学会等名 立教大学文学部文学科主催、科研費「近代日本探偵小説研究の基盤整備：資料の調査・保存・公開とその活用」ほか共催
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山口直孝
2. 発表標題 「愚痴」、「漫談」が伝える創作の舞台裏 乾信一郎宛横溝正史書簡の意義
3. 学会等名 「没後40年横溝正史展 新発見書簡に見る探偵小説作家の素顔」記念講演、くまもと文学・歴史館（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山口直孝
2. 発表標題 ここにはない幽霊 1950年代日本文学における徴候
3. 学会等名 二松学舎大学文学部シンポジウム「遊歴の歴史文化学 それはどこに宿るか」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kawasaki Kenko
2. 発表標題 Detective with 'Mixed-blood' Looks: Transformation of the Detective Genre as a Transcultural Text, from the 1920s to the 1940s
3. 学会等名 EAJS（ヨーロッパ日本研究学会）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小松史生子
2. 発表標題 災害をめぐる日本SFの想像力：SF漫画と災害 輪廻する時間 とヒロイズム
3. 学会等名 Japanese Studies Association of Australia (JSAA) 2021 Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小松史生子
2. 発表標題 戦後ミステリの中の南洋表象
3. 学会等名 日本比較文学会東京支部大会シンポジウム「再考 「南洋」への想像力」(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 浜田雄介
2. 発表標題 『新青年』研究後悔記
3. 学会等名 江戸川乱歩記念大衆文化センター(招待講演)
4. 発表年 2021年～2022年

1. 発表者名 石川巧
2. 発表標題 闇に蹲る者たちの声 / 世界の裂け目を聴くコトバー崎山多美論序説
3. 学会等名 日本近代文学会九州支部、秋季大会シンポジウム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 川崎賢子
2. 発表標題 「大陸三部作」の越境—メディア・ジャンル・ジェンダー
3. 学会等名 シンポジウム「貫戦期日中映画における表象の越境」20世紀メディア研究所
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 川崎賢子
2. 発表標題 『支那の夜』再検討 李香蘭研究の可能性と課題
3. 学会等名 現代中国研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 川崎賢子
2. 発表標題 ディスカッサント
3. 学会等名 TCS国際シンポジウム「メディア化された身体/引き裂かれた表象 東アジア冷戦文化の政治性」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 川崎賢子
2. 発表標題 「武蔵野夫人」空間と場所そして移動する境界
3. 学会等名 昭和文学会
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 川崎賢子
2. 発表標題 Ecstasy and humour: Representations of ageing in Ariyoshi Sawako's texts
3. 学会等名 Japan Studies Association of Australia (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川崎賢子
2. 発表標題 李香蘭再考
3. 学会等名 戦後中日芸術交渉:継承と展開,清華大学(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 谷口基
2. 発表標題 山田風太郎創作メモ『腹案集』をめくって
3. 学会等名 『新青年』研究会十二月例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 谷口基
2. 発表標題 「亡霊の近代文学」ディスカッサント&シンポジウム司会
3. 学会等名 日本近代文学会6月例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小松史生子
2. 発表標題 「近代日本の怪異とナショナリズム」ディスカッサント及び司会
3. 学会等名 日本近代文学会・昭和文学会・社会文学会・合同国際研究集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石川巧
2. 発表標題 戦時下における 人文知 夢野久作が描いた 東亜 とその未来
3. 学会等名 台湾日本語文学会二〇一九年度大会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計40件

1. 著者名 石川巧	4. 発行年 2023年
2. 出版社 三人社	5. 総ページ数 2020
3. 書名 戦後占領期雑誌『VAN』復刻版 附解題、総目次（執筆は解題）	

1. 著者名 石川巧・大原祐治編	4. 発行年 2022年
2. 出版社 金沢文圃閣	5. 総ページ数 562
3. 書名 占領期の地方総合文芸雑誌事典	

1. 著者名 山口直孝	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ジャパンデジタルアーカイブセンター	5. 総ページ数 -
3. 書名 オンライン版 二松学舎大学所蔵 横溝正史旧蔵資料（執筆は解題「デジタル画像が語る「探偵小説一代男」の創作現場」）	

1. 著者名 小松史生子、谷口基、乾英治郎、鈴木優作編著	4. 発行年 2022年
2. 出版社 青弓社	5. 総ページ数 340
3. 書名 怪異 とミステリ	

1. 著者名 小松史生子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 鼎書房	5. 総ページ数 146
3. 書名 三島由紀夫研究・短編小説2（執筆は「三島由紀夫「孔雀」にみる創造神 中井英夫「虚無への供物」との比較から」）	

1. 著者名 谷口基ほか	4. 発行年 2022年
2. 出版社 姫路文学館	5. 総ページ数 42
3. 書名 生誕百年記念 山田風太郎（谷口の執筆は「偉大なる 虚 と、偉大なる 知 と 山田風太郎の自筆資料について」）	

1. 著者名 西原和海、川崎賢子、沢田正史、谷口基編纂	4. 発行年 2022年
2. 出版社 国書刊行会	5. 総ページ数 1044
3. 書名 定本夢野久作 8	

1. 著者名 石川巧、飯田祐子、小平麻衣子、金子明雄、日比嘉高編	4. 発行年 2023年
2. 出版社 ひつじ書房	5. 総ページ数 352
3. 書名 文学研究の扉をひらく 基礎と発展	

1. 著者名 小松史生子、石川巧、谷口基、浜田雄介ほか	4. 発行年 2023年
2. 出版社 平凡社	5. 総ページ数 160
3. 書名 江戸川乱歩 日本探偵小説の父（別冊太陽）	

1. 著者名 横溝正史著、浜田知明・本多正一・山口直孝編	4. 発行年 2021年
2. 出版社 春陽堂書店	5. 総ページ数 523
3. 書名 完本人形佐七捕物帳 八	

1. 著者名 横溝正史著、浜田知明・本多正一・山口直孝編	4. 発行年 2021年
2. 出版社 春陽堂書店	5. 総ページ数 513
3. 書名 完本人形佐七捕物帳 九	

1. 著者名 横溝正史著、浜田知明・本多正一・山口直孝編	4. 発行年 2021年
2. 出版社 春陽堂書店	5. 総ページ数 567
3. 書名 完本人形佐七捕物帳 一〇	

1. 著者名 石川巧	4. 発行年 2021年
2. 出版社 三人社	5. 総ページ数 306
3. 書名 『探偵新聞』復刻版 附解題	

1. 著者名 谷口基	4. 発行年 2021年
2. 出版社 行舟文化	5. 総ページ数 697
3. 書名 変格ミステリ傑作選【戦前篇】（執筆は序文「変格探偵小説の発生と展開」）	

1. 著者名 谷口基ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 幻戯書房	5. 総ページ数 315
3. 書名 燃える地平線 橋外男作品集（執筆は解説「橋外男の「実話」と「小説」）」	

1. 著者名 小松史生子ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 青弓社	5. 総ページ数 375
3. 書名 怪異 とナショナリズム	

1. 著者名 石川巧	4. 発行年 2020年
2. 出版社 三人社	5. 総ページ数 320
3. 書名 『サンライズ』（函館新聞社）復刻版 附解題 総目次	

1. 著者名 石川巧	4. 発行年 2020年
2. 出版社 金沢文圃閣	5. 総ページ数 404
3. 書名 『晋風』 「蟻の兵隊」のコミュニティ雑誌	

1. 著者名 横溝正史（編集委員 山口直孝ほか）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 春陽堂書店	5. 総ページ数 551
3. 書名 完本 人形佐七捕物帳 三	

1. 著者名 横溝正史（編集委員 山口直孝ほか）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 春陽堂書店	5. 総ページ数 513
3. 書名 完本 人形佐七捕物帳 四	

1. 著者名 横溝正史（編集委員 山口直孝ほか）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 春陽堂書店	5. 総ページ数 527
3. 書名 完本 人形佐七捕物帳 五	

1. 著者名 横溝正史（編集委員 山口直孝ほか）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 春陽堂書店	5. 総ページ数 519
3. 書名 完本 人形佐七捕物帳 六	

1. 著者名 横溝正史（編集委員 山口直孝ほか）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 春陽堂書店	5. 総ページ数 507
3. 書名 完本 人形佐七捕物帳 七	

1. 著者名 横溝正史（編集委員 山口直孝ほか）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 春陽堂書店	5. 総ページ数 523
3. 書名 完本 人形佐七捕物帳 八	

1. 著者名 小栗虫太郎（解題 山口直孝）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 春陽堂書店	5. 総ページ数 640
3. 書名 亜細亜の旗	

1. 著者名 夢野久作、西原和海、川崎賢子、沢田安史、谷口基	4. 発行年 2020年
2. 出版社 国書刊行会	5. 総ページ数 752
3. 書名 定本 夢野久作全集 第7巻	



1. 著者名 落合教幸、阪本博志、藤井淑禎、渡辺憲司(分担執筆 川崎賢子、小松史生子、谷口基、浜田雄介)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 888
3. 書名 江戸川乱歩大事典	

1. 著者名 川崎賢子(分担執筆)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 20世紀メディア研究所	5. 総ページ数 151
3. 書名 20世紀メディア よもやま話	

1. 著者名 川崎賢子(分担執筆)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 InSEA (International Society for Education through Art) Publications	5. 総ページ数 230
3. 書名 MANGA! Visual Pop-Culture in ARTS Education	

1. 著者名 金子明雄(分担執筆)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 さいたま文学館	5. 総ページ数 24
3. 書名 江戸川乱歩と獵奇耽異	

1. 著者名 紅野謙介、内藤千珠子、成田龍一（分担執筆 金子明雄）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 平凡社	5. 総ページ数 472
3. 書名 戦後文学 の現在形	

1. 著者名 浜田雄介（編集委員）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 神奈川近代文学館	5. 総ページ数 66
3. 書名 創刊101年記念展 永遠に「新青年」なるもの ミステリー・ファッション・スポーツ	

1. 著者名 夢野久作、西原和海、川崎賢子、沢田安史、谷口基	4. 発行年 2019年
2. 出版社 国書刊行会	5. 総ページ数 570
3. 書名 定本 夢野久作全集 第6巻	

1. 著者名 横溝正史（編集委員 山口直孝ほか）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 春陽堂書店	5. 総ページ数 480
3. 書名 完本 人形佐七捕物帳 一	

1. 著者名 横溝正史（編集委員 山口直孝ほか）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 春陽堂書店	5. 総ページ数 527
3. 書名 完本 人形佐七捕物帳 二	

1. 著者名 渡辺啓助、小松史生子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 論創社	5. 総ページ数 440
3. 書名 渡辺啓助探偵小説選	

1. 著者名 渡辺啓助、浜田雄介	4. 発行年 2019年
2. 出版社 論創社	5. 総ページ数 368
3. 書名 渡辺啓助探偵小説選 1	

1. 著者名 エドガー・アラン・ポー、渡辺 温、渡辺 啓助（解説 浜田雄介）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 480
3. 書名 ポー傑作集	

1. 著者名 石川巧、金子明雄、川崎賢子、山口直孝、谷口基、浜田雄介、小松史生子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 三人社	5. 総ページ数 -
3. 書名 占領後期「宝石」復刻版 解説（別冊）	

1. 著者名 石川巧、金子明雄、川崎賢子、山口直孝、谷口基、浜田雄介、小松史生子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 金澤文圃閣	5. 総ページ数 -
3. 書名 関西探偵 / 捕物 作家クラブ会報 戦後占領期の大衆文化 解題（別冊）	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	石川 巧  (Ishikawa Takumi)  (60253176)	立教大学・文学部・教授   (32686)	
研究分担者	金子 明雄  (Kaneko Akio)  (70233872)	立教大学・文学部・教授   (32686)	
研究分担者	志賀 賢子 (川崎賢子)  (Kawasaki Kenko)  (40628046)	立教大学・文学部・特定課題研究員   (32686)	

## 6. 研究組織 (つづき)

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	小松 史生子 (Komatsu Shoko) (60350948)	金城学院大学・文学部・教授  (33905)	
研究分担者	谷口 基 (Taniguchi Motoi) (20634075)	茨城大学・人文社会科学部・教授  (12101)	
研究分担者	山口 直孝 (Yamaguchi Tadayoshi) (30297741)	二松學舎大學・文学部・教授  (32664)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	安蒜 貴子 (Anbiru Takako)		
研究協力者	井川 理 (Igawa Osamu)		
研究協力者	市地 英 (Ichiji Ei)		
研究協力者	乾 英治郎 (Inui Eijiro)		

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	大鷹 涼子  (Ootaka Ryoko)		
研究協力者	柿原 和宏  (Kakihara Kazuhiro)		
研究協力者	佐藤 淳  (Sato Jun)		
研究協力者	沢田 安史  (Sawada Yasushi)		
研究協力者	鈴木 優作  (Suzuki Yusaku)		
研究協力者	西田 恭子  (Nishida Kyoko)		
研究協力者	丹羽 みさと  (Niwa Misato)		
研究協力者	浜田 知明  (Hamada Tomoaki)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	本田 逸朗  (Honda Itsuro)		
研究協力者	松田 祥平  (Matsuda Shohei)		
研究協力者	森永 香代  (Morinaga Kayo)		
研究協力者	八木橋 悠太  (Yagihashi Yuta)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関